



デジタルミキシングコンソール

DM7
DM7 COMPACT

取扱説明書

目次

安全上のご注意	4
はじめに	8
使用対象者.....	8
使用目的.....	8
付属品.....	8
モデルの違い.....	8
ユーティリティソフトウェア.....	9
ファームウェアのアップデート.....	9
マニュアルの構成.....	9
表記について.....	9
各部の名称と機能	10
トップパネル.....	10
リアパネル.....	12
フロントパネル.....	14
タッチスクリーン	15
タッチスクリーンの見方.....	15
タッチスクリーンの基本操作.....	15
オプションカードを取り付ける	16
PYカードの取り付け.....	16
PYカードの取り外し.....	16
内蔵時計を設定する	17
工場出荷時の状態に戻す(初期化)	17
ケーブルフックを取り付ける	17
ラックマウントキットを取り付ける(DM7 COMPACT)	18
資料	19
一般仕様.....	19
寸法.....	20
ソースコードの配布.....	21
アフターサービス	22
保証書	23

安全上のご注意

ご使用前に、必ずよくお読みください。

必ずお守りください

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様やほかの方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。


お読みになったあとは、本製品を使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

「警告」「注意」について

誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度により区分して掲載しています。

記号表示について

本製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

注意喚起を示す記号	
禁止を示す記号	
行為を指示する記号	



警告

「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

異常に気づいたら



必ず実行

下記のような異常が発生した場合、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。

- ・電源コード/プラグが破損した場合
- ・製品から異常なおいや煙が出た場合
- ・製品の内部に水や異物が入った場合
- ・使用中に音が出なくなった場合
- ・製品に亀裂、破損がある場合

そのまま使用を続けると、感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店またはヤマハ修理ご相談センターに点検や修理をご依頼ください。

電源



禁止

電源コードが破損するようなことをしない。

- ・ストーブなどの熱器具に近づけない
- ・無理に曲げない
- ・傷つけない
- ・電源コードに重いものをのせない

感電や火災の原因になります。



必ず実行

電源は本製品に表示している電源電圧で使用する。

誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。



必ず実行

電源コードは、必ず付属のものを使用する。

故障、発熱、火災などの原因になります。

付属の電源コードは日本国内専用(125Vまで)です。



禁止

付属の電源コードをほかの製品に使用しない。

故障、発熱、火災などの原因になります。



必ず実行

電源プラグのほこりをきれいに拭き取る。

感電やショートのおそれがあります。

必要に応じて、定期的にはこりを拭き取ってください。



必ず実行

電源プラグは根元まで確実に差し込む。

火災やショートのおそれがあります。



必ず実行

本製品をコンセントの近くに設置する。

本製品は複数の電源を受給します。電源プラグに容易に手の届く位置に設置し、異常を感じた場合にはすぐに電源を切り、すべての電源プラグをコンセントから抜いてください。また、電源を切った状態でもすべての電源プラグをコンセントから抜かないかぎり電源から完全に遮断されません。電源プラグに容易に手が届き、操作できるように設置してご使用ください。



必ず実行

長期間使用しないときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。

火災や故障の原因になります。



禁止

雷が鳴りだしたときは、本製品や電源プラグに触らない。

感電の原因になります。

接続



必ず
接地接続

電源プラグは保護接地されている適切なコンセントに接続する。

確実に接地接続しないと、感電や火災、または故障の原因になります。



必ず実行

接続する機器のマニュアルを必ず読み、記載されている内容に従う。

従わない場合、火災、発熱、破裂、故障の原因になる可能性があります。

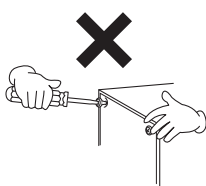
分解禁止



禁止

本製品を分解したり改造したりしない。

感電や火災、けが、または故障の原因になります。本製品の内部には、お客様が修理/交換できる部品はありません。



水に注意



禁止

- 本製品の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。
- 浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。

内部に水などの液体が入ると、感電や火災、または故障の原因になります。



禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電のおそれがあります。

火に注意



禁止

本製品の近くで、火気を使用しない。

火災の原因になります。

聴覚障害



必ず実行

電源を入れたり切ったりする前に、必ず本製品や接続している機器の音量(ボリューム)を最小にする。

聴覚障害、感電または機器の損傷の原因になることがあります。



必ず実行

オーディオシステムの電源を入れるときは、パワーアンプをいつも最後に入れる。電源を切るときは、パワーアンプを最初に切る。

聴覚障害やスピーカーの損傷の原因になることがあります。



禁止

大きな音量で長時間ヘッドホンを使用しない。

聴覚障害の原因になります。



注意

「傷害を負う可能性が想定される」内容です。

電源



必ず実行

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。

電源コードが破損して、感電や火災の原因になることがあります。

設置と接続



禁止

不安定な場所や振動の多い場所に置かない。

本製品が転倒して故障したり、けがをしたりする原因になります。



禁止

本製品を子供の手の届くところに置かない。

本製品は子供がいる可能性のある場所での使用には適していません。



禁止

本製品の通風孔(放熱用スリット)をふさがない。

内部の温度上昇を防ぐため、本製品の前面/背面には通風孔があります。通風孔をふさぐと、製品内部に熱がこもり、故障や火災の原因になることがあります。



必ず実行

本製品をEIA標準ラックにマウントする場合は、18ページの「ラックマウント時の注意」をよく読んでから設置する。

(DM7 COMPACT)

放熱が不十分だと製品内部に熱がこもり、火災や故障、誤動作の原因になることがあります。



禁止

塩害や腐食性ガスが発生する場所に設置しない。

故障の原因になります。



必ず実行

本製品を移動するときは、必ずすべての接続ケーブルを外した上で行う。

ケーブルをいためたり、お客様やほかの方々転倒したりするおそれがあります。



必ず実行

本製品を持ち運ぶ場合は、必ず2人以上で行う。(DM7)

本製品を1人で無理に持ち上げると、腰を痛めたり、本製品が落下して破損したり、お客様やほかの方々けがをしたりする原因になります。

お手入れ



必ず実行

本製品をお手入れをするときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。
感電の原因になることがあります。

取り扱い



禁止

本製品の上ののったり重いものをのせたりしない。
本製品が破損したり、けがをしたりする原因になります。

時計表示用内蔵バッテリー



禁止

時計表示用内蔵バッテリーを自分で交換しない。
誤って交換すると爆発や故障の原因となることがあります。
バッテリーを交換する必要があるときは、ディスプレイに「Low Battery」または「No Battery」と表示されます。この場合、お買い上げの販売店またはヤマハ修理ご相談センターに時計表示用内蔵バッテリーの交換をご依頼ください。

使用上のご注意

製品の故障、損傷や誤動作、データの損失を防ぐため、以下の内容をお守りください。

製品の取り扱い / お手入れに関するご注意

- 本製品をインターネットに接続する場合は、セキュリティを保つため必ずルーターなどを経由し接続する。経由するルーターなどには適切なパスワードを設定する。
電気通信事業者(移動通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダーなど)の通信回線(公衆無線LANを含む)には直接接続しない。
- テレビやラジオなど、他の電気製品の近くで使用しない。
本製品、または他の電気製品に雑音が生じる原因になります。
- 極端に温度の高いところや低いところ、ほこりや振動の多いところで使用しない。
本製品のパネルが変形したり、内部の部品が故障したり、動作が不安定になったりする原因になります。
- 温度変化が激しい場所に設置しない。
製品内部や表面に結露が発生し、故障する原因になります。
- 結露が発生しているおそれがあるときは、しばらく放置してから電源を入れる。
結露した状態で電源が入ると、故障の原因になります。
- 本製品上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かない。
パネルの変色/変質の原因になります。
- お手入れのときは、乾いた柔らかい布を使用する。次亜塩素酸ナトリウム、アルコール、ベンジン、シンナー、洗剤、化学ぞうきんなどで製品の表面を拭かない。
変色/変質する原因になります。
- フェーダーに、オイル、グリスや接点復活剤などを注入しない。
電気接点の接触やフェーダーの動きが悪くなる可能性があります。
- バランス出力をアンバランス機器に接続する場合は、各機器間のグラウンド電位を合わせる。
グラウンド電位が合っていないと、故障の原因になります。アンバランス(不平衡)機器接続ケーブルの配線はピン3: コールドとピン1: グラウンドを接続してお使いください。

お知らせ

データの著作権に関するお知らせ

- ソフトウェアおよび取扱説明書の一部または全部を無断で複製、改変することはできません。
- 著作権法などで認められている場合を除いて、市販の音楽/サウンドデータを権利者に無断で複製または転用することは禁止されています。

著作権法保護について

- 本製品を国や地域の法律が定める著作権をはじめとする第三者の権利を侵害する用途で使用しないでください。
- あなたが本製品を使用して第三者の権利を侵害しても、弊社は一切責任を負いません。

製品の機能 / データに関するお知らせ

- 本製品はDante IP CoreおよびDante API for ARMを使用しています。使用しているオープンソースライセンスについては、Audinate社のウェブサイト(英語)をご覧ください。<https://www.audinate.com/software-licensing>
- 本製品で使用しているオープンソースライセンスは、本体の画面で確認できます。詳細はDM7シリーズリファレンスマニュアルをご参照ください。
- XLR タイプコネクタのピン配列は、以下のとおりです(IEC60268規格に基づいています)。
1: グラウンド(GND)、2: ホット(+), 3: コールド(-)

取扱説明書の記載内容に関するお知らせ

- この取扱説明書に掲載されているイラストや画面は、すべて説明のためのものです。
- ソフトウェアまたは取扱説明書を使用した結果と影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。
- SteinbergおよびNuendoは、Steinbergの登録商標です。
- Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Mac、iPadは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- iOSは、米国およびその他の国におけるCisco社の商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- MIDI は社団法人音楽電子事業協会 (AMEI) の登録商標です。
- DynaFont は、DynaComware Taiwan Inc.の登録商標です。
- ソフトウェアは改良のため予告なしにバージョンアップすることがあります。

廃棄に関するお知らせ

- 本製品は、リサイクル可能な部品を含んでいます。廃棄される際には、廃棄する地方自治体にお問い合わせください。

データが破損したり失われた場合の補償や、不適切な使用や改造により故障した場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品

機種名 (品番)、製造番号 (シリアルナンバー)、電源条件などの情報は、製品の底面にある銘板または銘板付近に表示されています (DM7 COMPACT)。製品を紛失した場合などでもご自身のものを特定していただけるよう、機種名と製造番号については以下の欄にご記入のうえ、大切に保管していただくことをお勧めします。

機種名

製造番号

(1003-M06 plate bottom ja 01)

はじめに

このたびは、ヤマハDM7、DM7 COMPACTをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。本製品のさまざまな機能を十分に活用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。また、お読みになったあとも、大切に保管してください。

使用対象者

本製品は、ホールやイベント、スタジオなどで、PAシステムでのミキシング操作ができる方を対象としています。

使用目的

本製品は、ホールやイベント、放送/プロダクションでのミキシングのために使用します。

モデルの違い

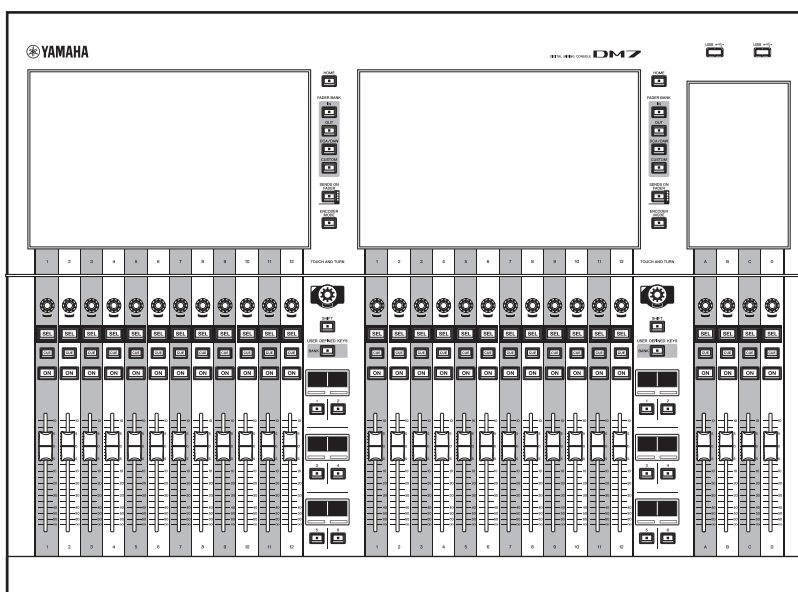
DM7とDM7 COMPACTの違いは次の表のとおりです。

	アナログ入力数	モノラルインプットチャンネル	AES/EBU	チャンネルストリップ
DM7	32	120	4イン/4アウト	チャンネルストリップセクション:24 メインセクション:4
DM7 COMPACT	16	72	0イン/2アウト	チャンネルストリップセクション:12 メインセクション:4

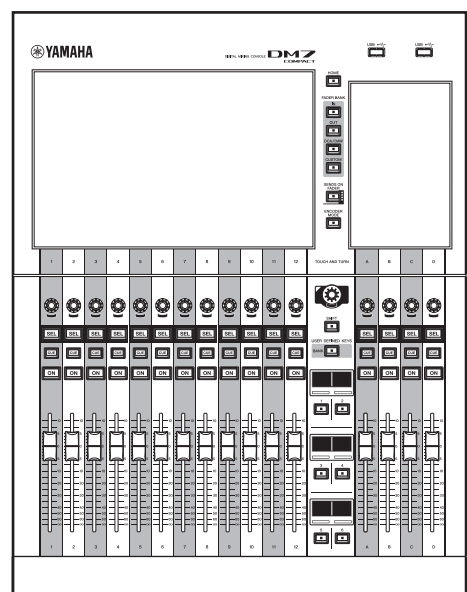
付属品

- 電源コード×2
- ダストカバー×1
(本製品を別売のDM7 CONTROL (CTL-DM7)と連結させている場合は、ダストカバーのファスナーを2箇所とも開け、カバーを広げてご使用ください。)
- ケーブルフック×1
- Nuendo Live and VST Rack Elements Download Informationリーフレット
- 取扱説明書 (本書:保証書付き)

DM7



DM7 COMPACT



NOTE

本書では、特にことわりがない場合、DM7のイラストを使って説明しています。

ユーティリティソフトウェア

DM7とDM7 COMPACTには、各種ユーティリティソフトウェアが用意されています。
ダウンロード方法やインストール、詳しい設定などについては、下記ヤマハプロオーディオウェブサイトやダウンロードしたプログラムに付属のインストールガイドをご参照ください。

<https://www.yamahaproaudio.com/>

DM7 Editor

本体の設定や操作をコンピューター上で行うソフトウェアです。本体設定のバックアップや、本体がない場所でセットアップも行えます。

DM7 StageMix

iPadを使って、本体を遠隔操作するソフトウェアです。

MonitorMix

Wi-Fi接続したスマートデバイスを使って、DM7シリーズのモニターミックスのバランスを遠隔操作するソフトウェアです。

Console File Converter

ヤマハRIVAGE PMシリーズ、CLシリーズ、QLシリーズ、DM7シリーズなどの設定ファイルを、それぞれで使用できるファイルに変換するソフトウェアです。

ProVisionaireシリーズ

設置環境や運用方法に合わせたコントロールパネルの作成と、機器のリモートコントロール、モニタリングが可能なソフトウェアです。

ファームウェアのアップデート

本製品は、操作性向上や機能の追加、不具合の修正のために、本体のファームウェアをアップデートできる仕様になっています。

ファームウェアのアップデートに関する情報は、下記ウェブサイトに掲載されています。

<https://www.yamahaproaudio.com/>

アップデートの手順や本体の設定については、ウェブサイトを用意されているファームウェアアップデートガイドをご参照ください。

マニュアルの構成

取扱説明書(本書)

主にパネル上の各部の名称と機能について説明しています。

DM7シリーズ リファレンスマニュアル

DM7シリーズのすべての画面と機能や操作方法、システムセットアップ方法を詳細に説明しています。

<https://manual.yamaha.com/pa/mixers/dm7/rm/>



DM7 Editorインストールガイド

DM7 Editorのインストール手順について説明しています。

<https://manual.yamaha.com/pa/mixers/dm7/ig/>



DM7 StageMixユーザーガイド

DM7シリーズのシステムをワイヤレスコントロールするiPadアプリケーションについて説明しています。

<https://manual.yamaha.com/pa/mixers/dm7/ug/>



各マニュアルはヤマハウェブサイトからダウンロードできます。ヤマハウェブサイトには常に最新のマニュアルデータが掲載されていますので、必要に応じてご利用ください。

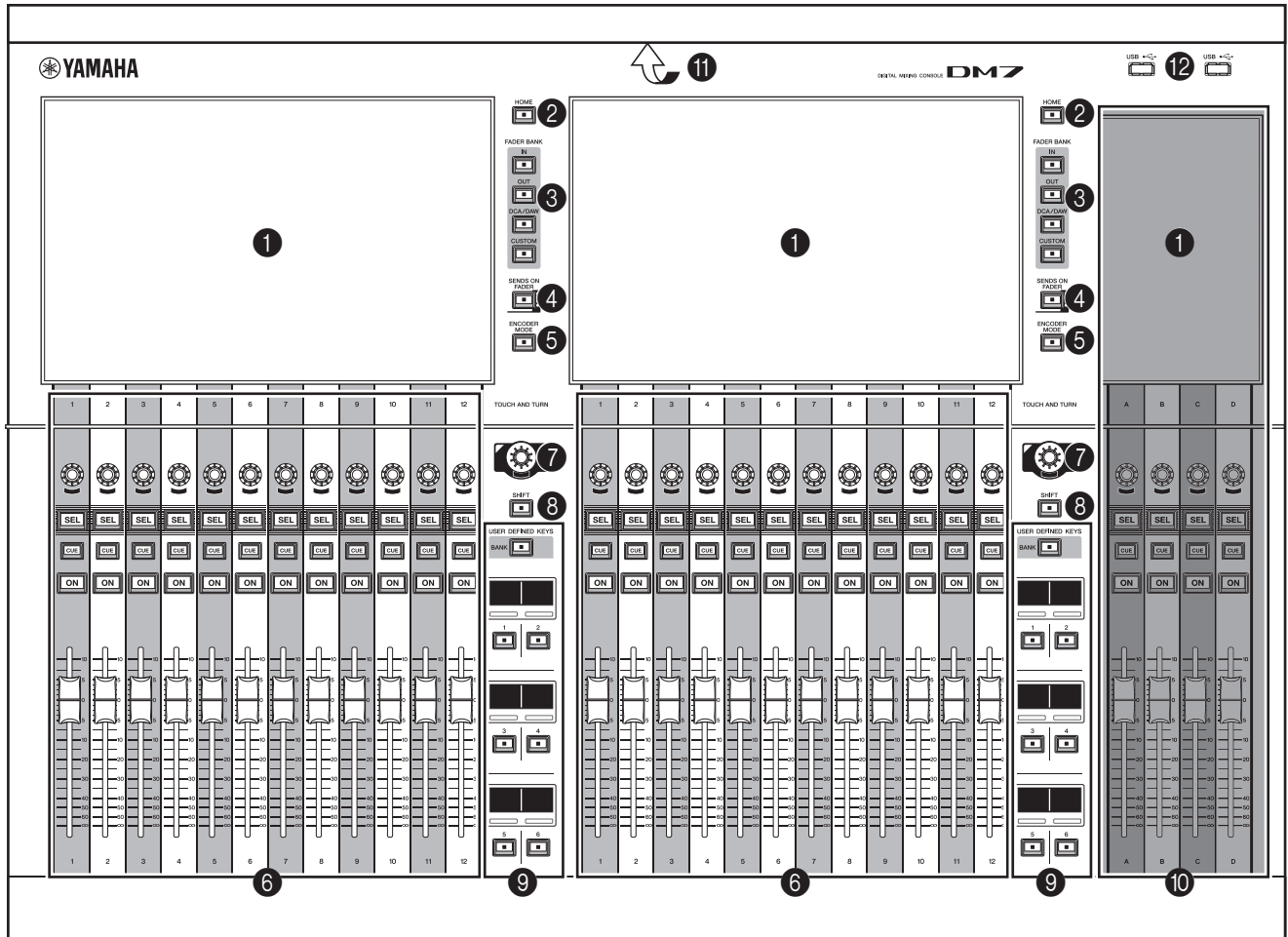
<https://download.yamaha.com/>

表記について

本書では、パネル上にあるスイッチ類を「キー」と呼びます。パネル上の操作子は、画面内に表示される仮想のボタンやノブ類と区別するために、名称を[]でくくって表記します(例:[HOME])。

各部の名称と機能

トップパネル



① タッチスクリーン

静電容量式のマルチタッチスクリーンです。手袋などを着用して操作すると、正しく動作しません。

ご注意

先のとがったものや、爪などの硬いもので、画面を操作しないでください。画面を傷つけたり、タッチスクリーンでの操作ができなくなるおそれがあります。

〔タッチスクリーンの見方〕〔タッチスクリーンの基本操作〕 → 15ページ

NOTE

タッチスクリーンには、工場出荷時に透明の保護フィルムが貼られていますので、はがしてからご使用ください。

② [HOME]

OVERVIEW画面とSELECTED CHANNEL VIEW画面を呼び出し、交互に切り替えます。

③ [FADER BANK]

パネル上のフェーダー割り当てを切り替えます。

④ [SENDS ON FADER]

SENDS ON FADERモードのオン/オフを切り替えます。オンにすると、チャンネルストリップでMIX/MATRIXバスへのセンドレベルを調節できます。

5 [ENCODER MODE]

タッチスクリーン下にあるエンコーダーの機能を切り替えるための画面を表示します。下記の2つの機能があります。

スクリーンエンコーダー機能:

タッチスクリーンで最大12個のパラメーターが割り当てられます。

チャンネルエンコーダー機能:

チャンネルストリップに並んだ12チャンネルのパラメーターがアサインされます。

6 チャンネルストリップセクション

選択されているチャンネルの主要なパラメーターを操作します。

7 [TOUCH AND TURN]

タッチスクリーンで選択したノブのパラメーターを操作します。

8 [SHIFT]

他のキーと組み合わせて、各種機能を実行します。詳細はDM7シリーズ リファレンスマニュアルをご参照ください。

9 [USER DEFINED KEYS]

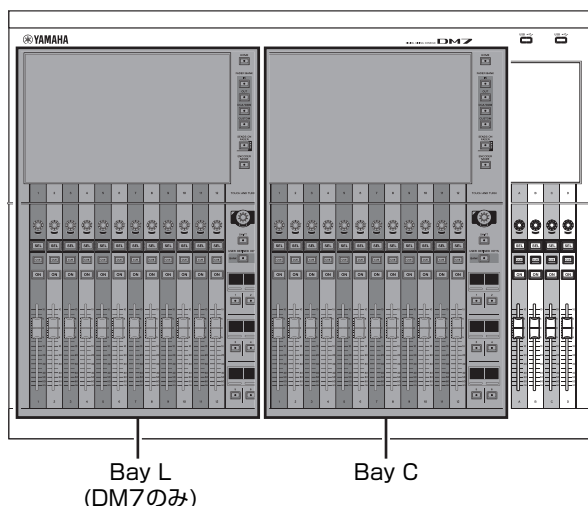
あらかじめ割り当てた機能を実行します。[BANK]で操作するバンクを切り替えます。

10 メインセクション

割り当てられたチャンネルの主要なパラメーターを操作するセクションです。初期設定では、チャンネルC、Dに、それぞれSTEREO A、STEREO Bが割り当てられています。

NOTE

下図のエリアを、それぞれBay L (DM7のみ)、Bay Cと呼びます。



11 LEDライティングバー

暗い場所で使用する場合に操作パネルを照らします。詳細はDM7シリーズ リファレンスマニュアルをご参照ください。

12 USB端子

USBタイプAの端子です。USBメモリーなどのUSBストレージデバイスを接続できます。

■ USBメモリーのフォーマット

サポートしているフォーマット形式は、FAT16/FAT32です。

■ 誤消去防止

USBメモリーには、誤ってデータを消してしまわないようにするため、ライトプロテクトできるものがあります。大切なデータが入っている場合は、ライトプロテクトで書き込みができないようにしてください。

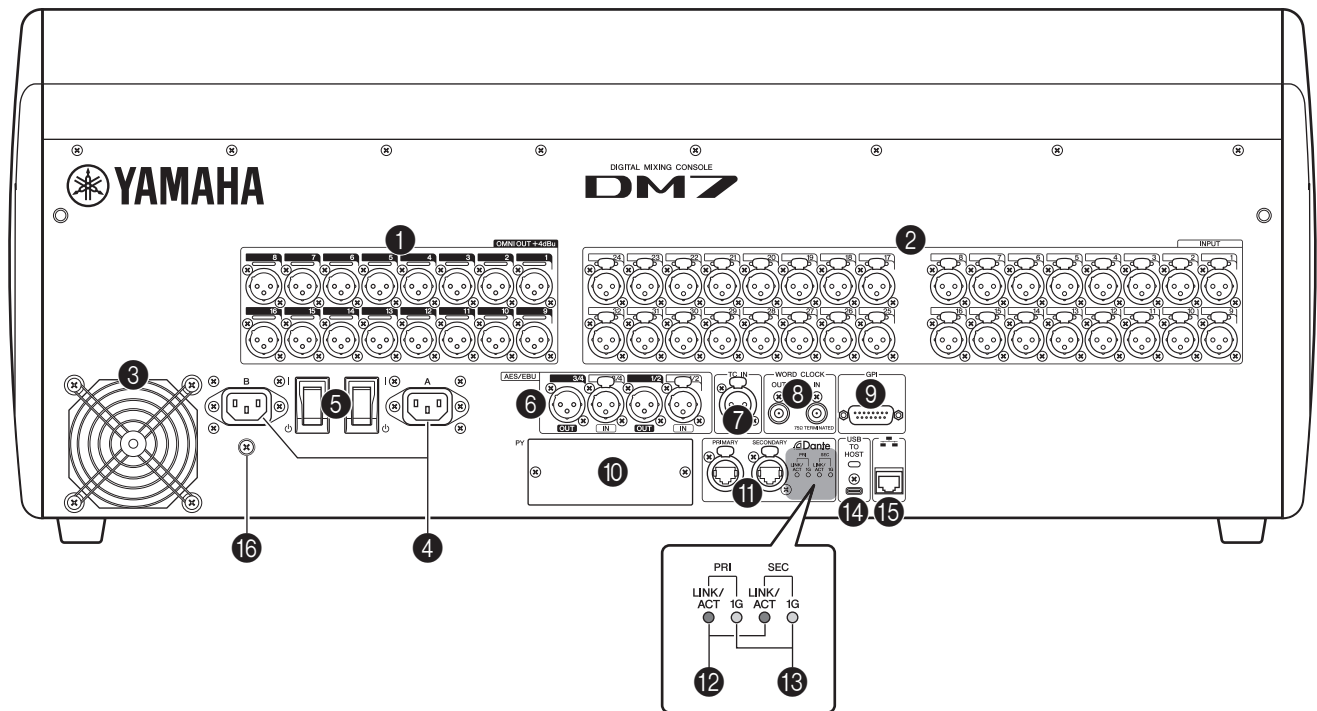
逆にセーブする場合などは、お使いの前にUSBメモリーのライトプロテクトが解除されていることをご確認ください。

使用可能なUSBメモリーの情報は、ヤマハプロオーディオウェブサイトをご参照ください。

<https://www.yamahaproaudio.com/>

ご注意

セーブ/ロード/デリートなどデータのアクセス中は、USBメモリーを抜いたり、本体の電源を切ったりしないでください。記憶メディアが壊れたり、本体およびメディアのデータが壊れたりするおそれがあります。



① [OMNI OUT]

アナログオーディオ信号を出力するバランスXLR3ピン出力端子です。

② [INPUT]

ラインレベル機器やマイクのアナログオーディオ信号を入力するバランスXLR3ホール入力端子です。

③ 排気口

本製品には冷却用ファンが装備されています。ここから排気が行われますので、障害物などで排気口をふさぐことのないようご注意ください。吸気は、前面下と背面の通風孔から行われます。



注意

本製品の通風孔(放熱用スリット)をふさがないでください。内部の温度上昇を防ぐため、本製品の前面/背面には通風孔があります。通風孔をふさぐと、製品内部に熱がこもり、故障や火災の原因になることがあります。

④ AC IN (電源入力) 端子 [A]/[B]

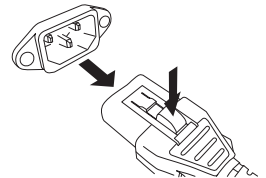
付属の電源コードを接続します。
まずこの機器と電源コードを接続し、次に電源プラグをコンセントに差し込みます。
電源コードを接続するときは、ロックされるまでしっかり奥に差し込んでください。付属の電源コードはラッチによるロック機構(Vロック)を備えており、電源コードが意図せず外れてしまうのを防ぎます。



注意

電源コードを接続したり、取り外したりする前に必ず電源をオフにしてください。

電源コードを取り外すときは、電源コードのラッチを押して取り外してください。



⑤ [I]/[O] (電源スイッチ)

電源のオン(I)/オフ(O)を切り替えます。長時間使用しないときは、必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

ご注意

電源スイッチのオン/オフを連続して素早く切り替えると、誤動作の原因になることがあります。電源スイッチをオフにしてから再度オンにする場合は、6秒以上の間隔を空けてください。

NOTE

- 本製品は[A]と[B]両方の電源をオンにしても、一方だけをオンにしても正常に動作します。
- 両方の電源をオンにした状態で、使用中に片方の電源供給が途絶えた場合は、自動的にもう一方の電源に切り替わります。

6 [AES/EBU]

DM7は[IN]と[OUT]両方にサンプリングレートコンバーターを搭載しています。[OUT]のみのDM7 COMPACTにはサンプリングレートコンバーターを搭載していません。

[IN] (DM7のみ)

デジタルオーディオ信号をAES/EBUフォーマットで入力するバランスXLR3ホール入力端子です。

[OUT]

デジタルオーディオ信号をAES/EBUフォーマットで出力するバランスXLR3ピン出力端子です。

7 [TC IN]

外部機器からタイムコード信号を受信するためのバランスXLR3ホール入力端子です。

8 [WORD CLOCK OUT/IN]

外部機器との間でワードクロック信号を送受信するためのBNC端子です。[WORD CLOCK IN]は内部で75 Ω終端されています。

9 [GPI]

GPIに対応した外部機器との間で信号の送受信(5イン/5アウト)を行うためのD-sub 15ホール端子です。

10 [PY]

別売のPY カードを装着して、入出力ポートを拡張するためのカードスロットです。
〔オプションカードを取り付ける〕 →16ページ

11 Dante [PRIMARY]/[SECONDARY]

Rio3224-D2などのI/Oデバイスをはじめ、Danteオーディオネットワークと接続するための端子です。コネクタはNeutrik社製etherCON CAT5eと適合するRJ-45コネクタをご使用ください。これらの端子は、最大144イン/144アウト、96 kHz/24ビットまたは32ビット、48 kHz/24ビットまたは32ビットに対応します。

NOTE

- 電磁干渉防止のためには、STP (Shielded Twisted Pair)ケーブル(シールド付きツイストペアケーブル)をご使用ください。STPケーブルは、コネクタの金属部分とケーブルのシールド部分を導電テープなどで確実に接触させてください。
- Danteネットワーク内では、ネットワークスイッチのEEE機能(*)を使用しないでください。EEE機能に対応したスイッチ間では、消費電力の相互設定が自動で調整されますが、相互設定の調整が正しく機能しないスイッチもあります。これにより、Danteネットワーク内の不適切な場面でスイッチのEEE機能が有効になってしまう可能性があります。クロック同期性能が悪化して音声が途切れる場合があります。そのため、以下の点にご注意ください。
 - マネージドスイッチを使用する場合、Danteを使用するすべてのポートのEEE機能をオフにしてください。EEE機能がオフにできないスイッチは使用しないでください。
 - アンマネージドスイッチを使用する場合、EEE機能に対応したスイッチを使用しないでください。これらのスイッチはEEE機能をオフにできません。

* EEE (Energy Efficient Ethernet) 機能: ネットワークのトラフィックが少ないときにイーサネット機器の消費電力を減らす技術。グリーンイーサネットやIEEE802.3azとも呼ばれる。

12 [LINK/ACT]

[PRIMARY]と[SECONDARY]それぞれの通信状態をあらわすインジケータです。Ethernetケーブルが正しく接続されている場合には速く点滅します。

13 [1G]

Danteネットワークがギガビットイーサネットとして機能しているときに点灯するインジケータです。

14 [USB TO HOST]

USBタイプC (USB2.0) の端子です。USBケーブルでコンピューターと接続することで、最大18イン/18アウト、96 kHz/32ビットまたは48 kHz/32ビットのオーディオインターフェースとして機能します。また、USB-MIDIによるDM7シリーズのコントロールと、DAWソフトウェアのリモートコントロールができます。コンピューターとの通信にはYamaha Steinberg USB Driverのインストールが必要です。詳細はDM7シリーズリファレンスマニュアルをご参照ください。

ご注意

- USBケーブルは、3 m未満のものをご使用ください。
- USBケーブルの抜き差しは、6秒以上間隔を空けて行ってください。

15 ネットワーク端子

イーサネットケーブル(CAT5以上を推奨)を使用して、コンピューターと接続するRJ-45端子です。DM7 Editorなどの対応アプリケーションを使用して、外部からコントロールします。

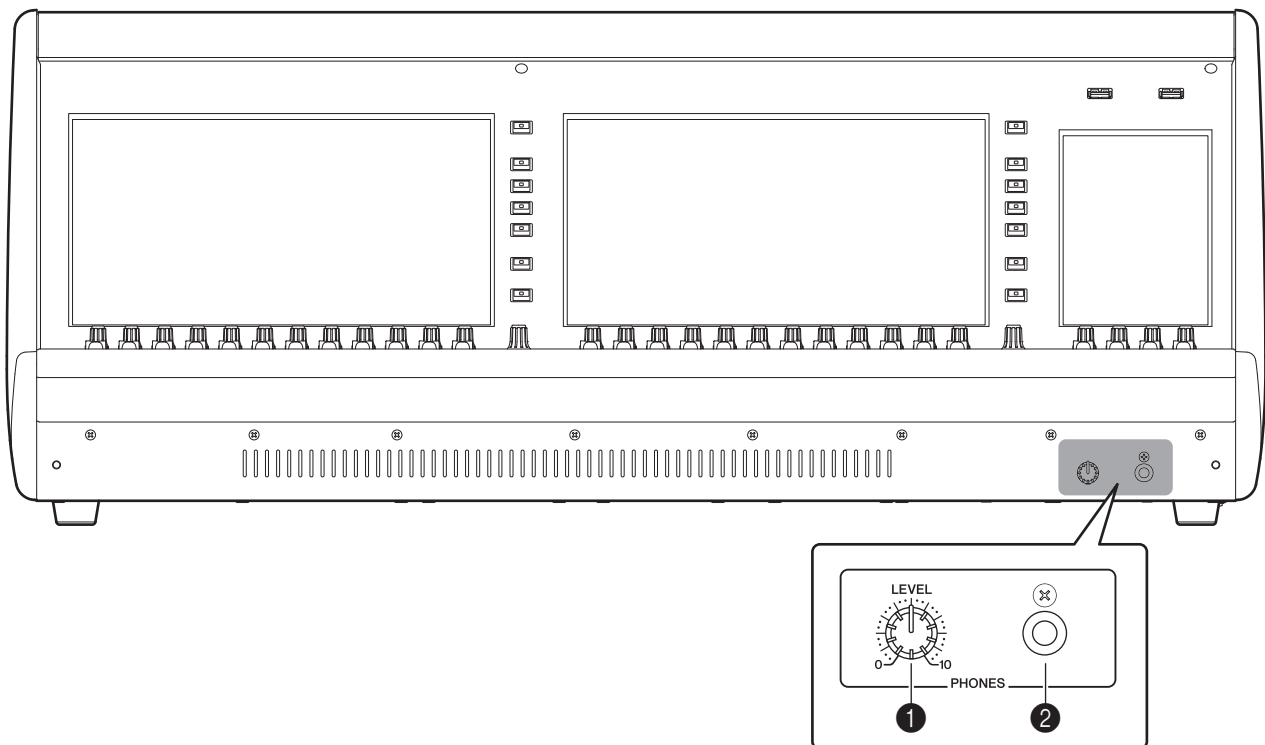
NOTE

電磁干渉防止のためには、STP (Shielded Twisted Pair)ケーブル(シールド付きツイストペアケーブル)をご使用ください。

16 アースねじ

付属の電源コードは3芯プラグです。コンセントが接地されていれば、本体は電源コードから適切にアース接続されます。さらに、このネジもアース接続することで、ハムノイズ、干渉ノイズなどを改善できる場合があります。

フロントパネル



① [PHONES LEVEL]

PHONES出力端子から出力される信号のレベルを調節します。

② [PHONES]

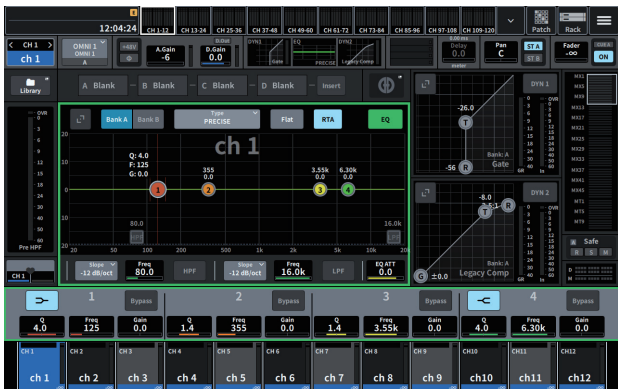
MONITOR信号またはCUE信号をモニターするヘッドホン端子です。

タッチスクリーン

タッチスクリーンの見方

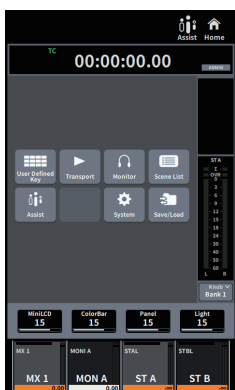
Bayスクリーン

Bay C, Bay L (DM7のみ) のタッチスクリーンです。メニューバーから画面の切り替えができ、各種のパラメーターを設定します。




ユーティリティースクリーン

メインセクションのタッチスクリーンです。本体の状況を確認したり、モニターなどの画面を呼び出して操作したりすることができます。



タッチスクリーンの基本操作

画面を切り替える

Bayスクリーンでは、画面右上の  をタップするとメニューバーが表示されます。メニューバーのボタンをタップして選択することで、画面を切り替えられます。ユーティリティースクリーンでは、HOME画面上のボタンをタップすると画面を切り替えられます。HOMEボタンをタップすると、HOME画面に戻ります。

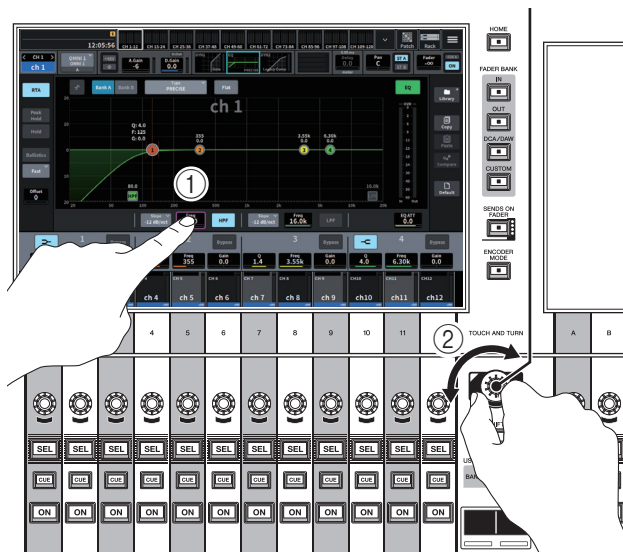
NOTE

画面上で、選択時にピンク色の枠が表示された領域には、[TOUCH AND TURN]で操作できるパラメーターがあります。

[TOUCH AND TURN](11ページ⑦)を使ってパラメーターを操作する

操作するパラメーターをタップして選択(①)したあと、[TOUCH AND TURN]を操作(②)します。選択されているパラメーターにはピンク色の枠が表示されます。

[TOUCH AND TURN]



スクロールする

スクロールバーが出ている画面などでは、画面を上下または左右にスライドすると、続きの画面が表示されます。スワイプすると、素早くスクロールできます。

このほか、下記のような使い方ができます。詳細はDM7シリーズ リファレンスマニュアルをご参照ください。

- **ピンチイン/ピンチアウト**
EQのQが操作できます。
- **3本の指で上下にスライド**
複数バンドのEQゲインのブースト/カット量を同時に調整できます。
- **4本の指で上下にスライド、または3本指でピンチイン/ピンチアウト**
複数バンドのEQゲイン調整量を一括して拡大/縮小できます。

オプションカードを取り付ける

PYカードの取り付け

PYカードを取り付ける前に、DM7シリーズ対応カードかどうかをヤマハプロオーディオウェブサイトで必ずご確認ください。

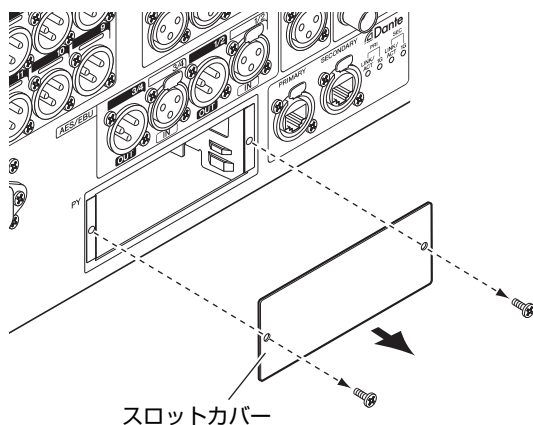
<https://www.yamahaproaudio.com/>

1. 本製品の電源がオフになっていることを確認します。

 注意
電源がオンの状態で作業すると、故障や感電の原因になります。

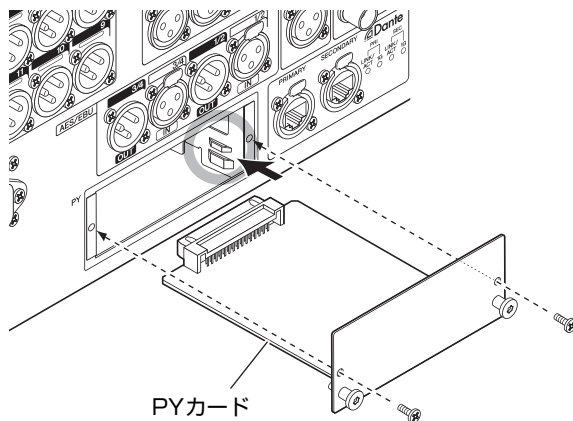
2. [PY]のロットカバーの固定ネジを外して、ロットカバーを取り外します。

取り外したネジは、PYカードの取り付けに使用します。ロットカバーは、安全な場所に保管してください。



3. スロット内のガイドレールにPYカードの両端を合わせ、PYカードをスロットに挿入します。

このとき、PYカードの端子部分がスロット内部の端子に正しく挿さるようPYカードをいっぱいまで押し込んでください。



ご注意

PYカードを取り付けるときは、取り付ける機器のスロットにあるガイドレールに、PYカードの両端を確実に合わせてください。

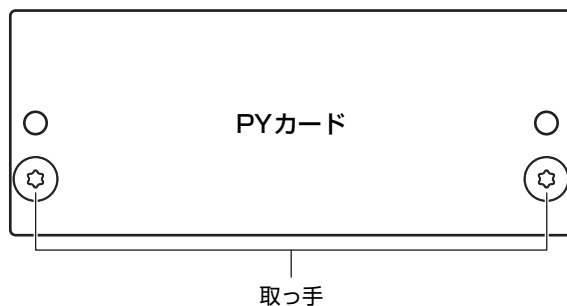
4. 手順2で外したネジでPYカードを固定します。
ネジを取り付けない状態で使用しないでください。PYカードが固定されていないと、故障や誤動作の原因となることがありますのでご注意ください。

PYカードの取り外し

1. 本製品の電源がオフになっていることを確認します。

 注意
電源がオンの状態で作業すると、故障や感電の原因になります。

2. PYカードを固定しているネジを外します。
3. PYカードの取っ手(下図参照)を持って、手前にゆっくり引き出します。




4. 保管しておいたロットカバーを取り付け、ネジで固定します。

ロットカバーを外した状態で使用しないでください。故障や誤動作の原因となることがありますのでご注意ください。

内蔵時計を設定する

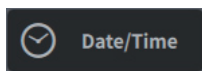
本体に内蔵された時計の日時設定、タイムゾーンおよび日付/時刻の表示方法を選びます。

ここで設定した日付と時刻は、シーンやセーブ/ロード時のタイムスタンプに影響します。

1. Bayスクリーン右のメニューバーのSetupボタンをタップします。
メニューバーが表示されていない場合は、画面右上のをタップするとメニューバーが表示されます。

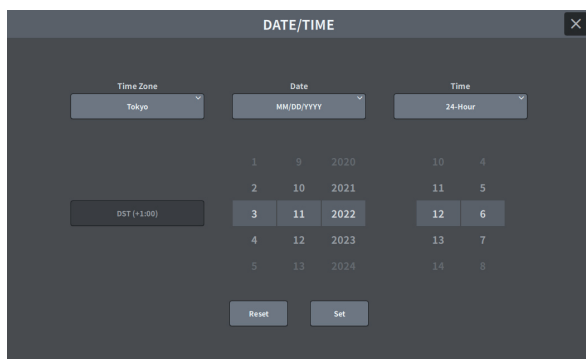


2. Date/Timeボタンをタップします。



DATE/TIME画面が表示されます。

3. DATE/TIME画面で、タイムゾーン、日付と時刻の表示方法を選びます。



表示方法は次の中から選択できます。数字をフリックして選択します。

• 日付

MM/DD/YYYY (月/日/西暦年)

DD/MM/YYYY (日/月/西暦年)

YYYY/MM/DD (西暦年/月/日)

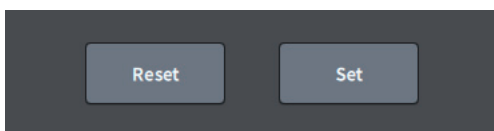
• 時刻

24-Hour (時間を0～23時で表示)

12-Hour (時間をAM0～AM11時、

PM0～PM11時で表示)

4. 設定が終わったらSetボタンをタップします。Resetボタンをタップすると、設定前の日付と時刻に戻ります。



工場出荷時の状態に戻す(初期化)

本体の内蔵メモリーにエラーが起きたとき、またはパスワードを忘れてしまったために操作できなくなったときは、次の操作で内蔵メモリーを初期化できます。

ご注意

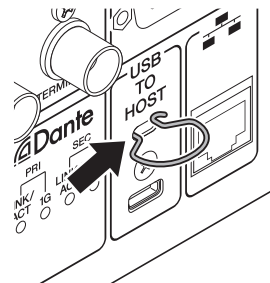
内蔵メモリーを初期化すると、本体に保存した内容がすべて消去されます。以下の操作は慎重に行ってください。

1. メインセクションのチャンネルDの[SEL]を押しながら電源を入れます。
2. ユーティリティスクリーンにMAINTENANCE画面が表示されたら、Initialize All Memoryボタンをタップします。
工場出荷時の設定に戻ります。

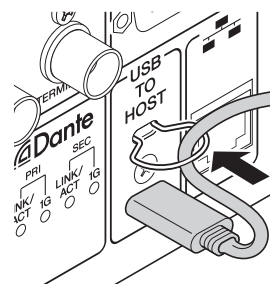
ケーブルフックを取り付ける

不意にUSBケーブルが抜けるのを防ぐため、付属のケーブルフックを使用する場合は以下の手順で取り付けます。

1. 付属のケーブルフックの片方の先を、リアパネルの[USB TO HOST]端子にあるセキュリティスロットの片側にひっかけます。




2. もう一方のフックの先を押し込んで、セキュリティスロットの反対側に入れます。
3. フックにUSBケーブルを通してUSB端子に差し込みます。



ラックマウントキットを取り付ける (DM7 COMPACT)

別売のラックマウントキットRK1をDM7 COMPACTに取り付けて、ラックや設備に固定できます。

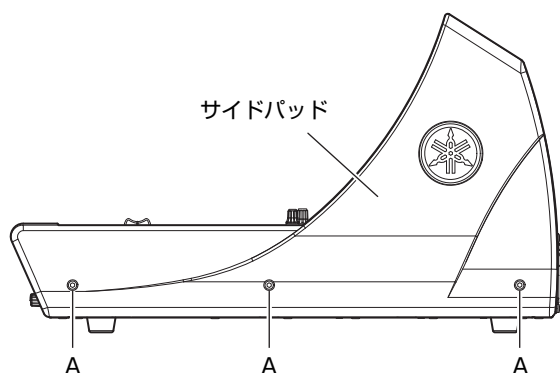
1. 電源がオフになっていることを確認します。

 注意
ラックマウントキットRK1を取り付けるときは、必ず本体の電源スイッチをオフにし、RK1に付属のネジを使用してください。故障や感電の原因になります。

2. サイドパッドのネジ(A)を外してサイドパッドを取り外します。

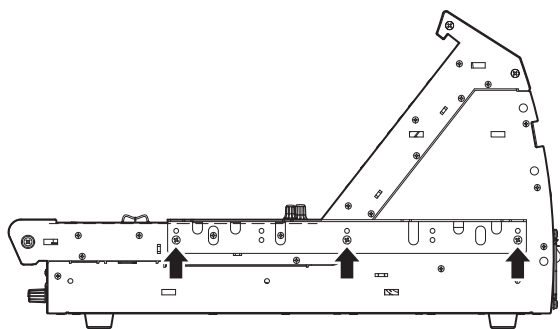
NOTE

サイドパッドのネジは、取り外したパッドと一緒に保管してください。



3. RK1に付属のネジを使用して、金具を取り付けます。

下図の矢印の位置3箇所までネジ止めしてください。



4. 反対側の金具も同様に取り付けます。

ラックマウント時の注意

この機器が動作保証する室温は0~40℃です。この機器を他の機器と一緒にEIA標準のラックにマウントする場合、各機器からの熱でラック内の温度が上昇し、十分な性能を発揮できないことがあります。この機器に熱がこもらないように、必ず以下の条件でラックにマウントしてください。

- ケーブル接続スペースを除いて、最低14Uのスペースが必要です。
- パワーアンプなどの発熱しやすい機器と一緒にマウントする場合は、他の機器との間を空けてください。また、このスペースは通風パネルを取り付けたり、開放したりして、十分な通気を確保してください。
- ラックの背面を開放して、ラックを壁や天井から10 cm以上離し、十分な通気を確保してください。ラックの背面を開放できない場合は、ラックに市販のファンキットなどの強制換気装置を取り付けてください。ファンキットを取り付けた場合は、ラックの背面を閉じた方が放熱効果が大きくなることもあります。詳しくはラックおよびファンキットの取扱説明書を参照してください。

資料

一般仕様

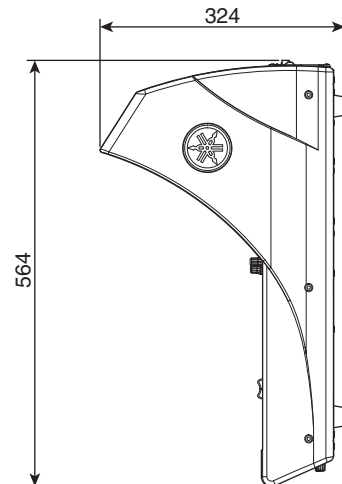
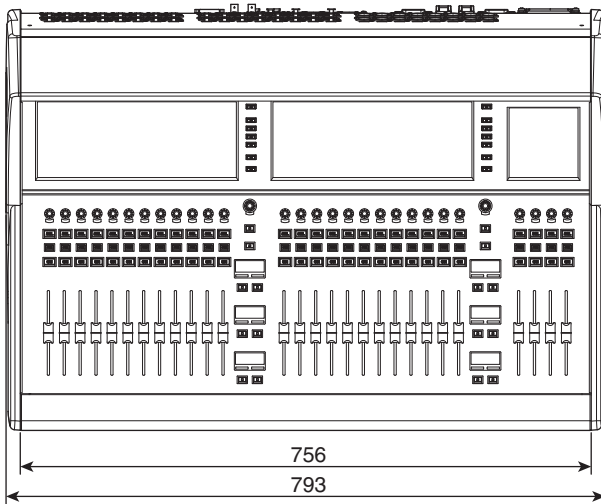
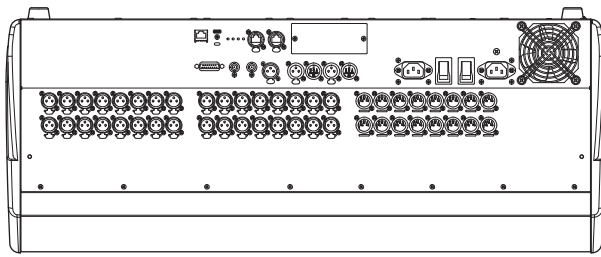
ミキシングキャパシティ		DM7: 120 Inputs、48 MIX + 12 MATRIX + 2 STEREO DM7 COMPACT: 72 Inputs、48 MIX + 12 MATRIX + 2 STEREO
サンプリング 周波数	外部 クロック	Frequency Range 48 kHz / 96 kHz ±200 ppm
	内部 クロック	Frequency 48 kHz / 96 kHz
シグナルディレイ		Less than 1.5 ms、INPUT to OMNI OUT @Fs=96 kHz
スクリーン		DM7: 12.1" multi-touch screen × 2、7" multi-touch screen × 1 DM7 COMPACT: 12.1" multi-touch screen × 1、7" multi-touch screen × 1
フェーダー		DM7: 100 mm touch-sensitive motorized fader × 28 DM7 COMPACT: 100 mm touch-sensitive motorized fader × 16
電源電圧		100-240 V、50/60 Hz
消費電力		240 W
外形寸法	W × H × D	DM7: 793 mm × 324 mm × 564 mm (ゴム足含む) DM7 COMPACT: 468 mm × 324 mm × 564 mm (ゴム足含む)
質量		DM7: 23.5 kg DM7 COMPACT: 16.5 kg
NC値 *1	Fan Speed LOW	NC=20
	Fan Speed HIGH	NC=30
動作温度範囲		Min: 0°C、Max: 40°C
保管温度範囲		Min: -20°C、Max: 60°C
付属品		取扱説明書、電源コード×2、ダストカバー、ケーブルフック、Nuendo Live and VST Rack Elements Download Informationリーフレット
別売オプション		DM7: PYカード、DM7 CONTROL (CTL-DM7) DM7 COMPACT: PYカード、DM7 CONTROL (CTL-DM7)、 ラックマウントキットRK1

*1. 機器(フロントパッド)先端から、手前30 cm、上30 cm位置で測定

本書は、発行時点での最新仕様で説明しています。最新版は、ヤマハウェブサイトからダウンロードできます。

寸法

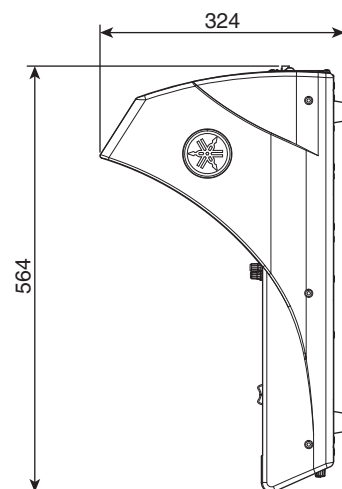
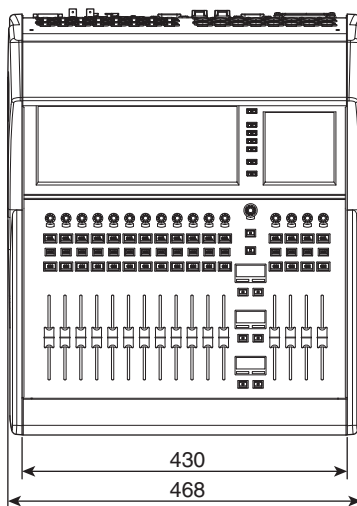
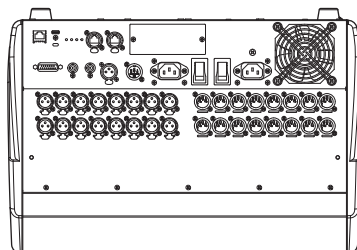
DM7



外装色マンセル近似値: N2.25

単位: mm

DM7 COMPACT



外装色マンセル近似値: N2.25

単位: mm

ソースコードの配布

本製品の最終出荷日から3年間は、製品のソースコードのうちGNU General Public License / GNU Lesser General Public License / RealNetworks Public Source Licenseに基づいてライセンス供与された部分については、ソースコードを配布できます。以下の住所にお問い合わせください。

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10-1

ヤマハ株式会社 音響事業本部 プロオーディオ事業部 マーケティング&セールス部

ソースコードの配布自体は無償ですが、ソースコードの送料につきましてはご負担いただきます。また、ソースコードは以下のURLでも配布しております。

<https://www.yamahaproaudio.com/>

- 弊社(または弊社認定の関係者)以外の第三者による、この製品のソフトウェアに対する変更や追加、削除によって発生したいかなる損害に対しても、弊社は一切責任を負いません。
- 弊社により一般に公開されたソースコードの再利用は保証されておりません。ソースコードに関して弊社は一切責任を負いません。

アフターサービス

お問い合わせ窓口

お問い合わせや修理のご依頼は、お買い上げ店、または次のお問い合わせ窓口までご連絡ください。

●機能や取り扱いに関するお問い合わせ

ヤマハ・プロオーディオ・インフォメーションセンター



0570-050-808

ナビダイヤル®

※固定電話は全国市内通話料金でご利用いただけます。
通話料金は音声案内で確認できます。

上記番号でつながらない場合は **03-5488-5447**

受付時間 月曜日～金曜日 11:00～17:00
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定休日を除く)

オンラインサポート <https://jp.yamaha.com/support/>

●修理に関するお問い合わせ

ヤマハ修理ご相談センター



0570-012-808

ナビダイヤル®

※固定電話は全国市内通話料金でご利用いただけます。
通話料金は音声案内で確認できます。

上記番号でつながらない場合は **053-460-4830**

FAX **03-5762-2125** 東日本(北海道/東北/関東/甲信越/東海)
06-6649-9340 西日本(北陸/近畿/四国/中国/九州/沖縄)

修理品お申込み窓口

東日本サービスセンター
〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1
JMT 京浜E棟 A-5F
FAX 03-5762-2125

西日本サービスセンター
〒556-0011 大阪府大阪市浪速区難波中1丁目13-17
ナンバ社本ビル 7F
FAX 06-6649-9340

受付時間
月曜日～金曜日 10:00～17:00
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定休日を除く)

●販売元

(株)ヤマハミュージックジャパン PA 営業部
〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町41-12
KDX 箱崎ビル

保証と修理について

保証と修理についての詳細は下記のとおりです。

●保証書

本書に保証書が掲載されています。購入を証明する書類(レシート、売買契約書、納品書など)とあわせて、大切に保管してください。

●保証期間と期間中の修理

保証書をご覧ください。保証書記載内容に基づいて修理させていただきます。お客様に製品を持ち込んでいただくか、サービスマンが出張修理にお伺いするのは、製品ごとに定められています。

●保証期間経過後の修理

ご要望により有料にて修理させていただきます。使用時間や使用環境などで劣化する下記の有寿命部品などは、消耗劣化に応じて交換が必要となります。有寿命部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ修理ご相談センターまでご連絡ください。

有寿命部品

フェーダー、ボリューム、スイッチ、接続端子など

●補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造終了後8年です。

●修理のご依頼

本書をもう一度お読みいただき、接続や設定などをご確認のうえ、お買い上げの販売店またはヤマハ修理ご相談センターまでご連絡ください。修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

●損害に対する責任

本製品(搭載プログラムを含む)のご使用により、お客様に生じた損害(事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、そのほかの特別損失や逸失利益)については、当社は一切その責任を負わないものとします。また、いかなる場合でも、当社が負担する損害賠償額は、お客様がお支払いになったこの商品の代価相当額をもって、その上限とします。

* 名称、住所、電話番号、営業時間、URLなどは変更になる場合があります。

保 証 書

持込修理

品 名	デジタルミキシングコンソール		
※品 番			
※シリアル番号			
保 証 期 間	本 体	お買上げの日から1年間	
※お買上げ日	年 月 日		
お 客 様	ご住所	□□□□-□□□□	
	お名前	様	
	お電話		

本書は、本書記載内容で無償修理を行う事をお約束するものです。お買上げの日から左記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上お買上げの販売店に修理をご依頼ください。ご依頼の際は、購入を証明する書類(レシート、売買契約書、納品書など)をあわせてご提示ください。

(詳細は保証規定をご覧ください)

※販 売 店	店 名	印
	所在地	
	電 話	()

株式会社ヤマハミュージックジャパン PA営業部
〒103-0015
東京都中央区日本橋箱崎町41番12号 KDX箱崎ビル
TEL. 03-5652-3850

ご販売店様へ ※印欄は必ずご記入ください。

保証規定

1. 保証期間中、正常な使用状態(取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態)で故障した場合には、無償修理を致します。
2. 保証期間内に故障して無償修理をお受けになる場合は、商品と本書をご持参ご提示のうえ、お買上げ販売店にご依頼ください。
3. ご贈答品、ご転居後の修理についてお買上げの販売店にご依頼できない場合には、ヤマハ修理ご相談センター*にお問合わせください。
4. 保証期間内でも次の場合は有料となります。
 - (1) 本書のご提示がない場合。
 - (2) 本書または購入を証明する書類(レシート、売買契約書、納品書など)にお買上げの年月日、お客様、お買上げの販売店の記入がない場合、及び本書の字句を書き替えられた場合。
 - (3) 使用上の誤り、他の機器から受けた障害または不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - (4) お買上げ後の移動、輸送、落下などによる故障及び損傷。
 - (5) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧などによる故障及び損傷。
 - (6) お客様のご要望により出張修理を行う場合の出張料金。
5. この保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
6. この保証書は再発行致しかねますので大切に保管してください。
 - この保証書は本書に示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買上げの販売店、ヤマハ修理ご相談センター*にお問合わせください。
 - ご記入いただきましたお客様のお名前、ご住所などの個人情報は、本保証規定に基づく無料修理に関する場合のみ使用致します。取得した個人情報は適切に管理し、法令に定める場合を除き、お客様の同意なく第三者に提供することはありません。

* その他の連絡窓口につきましては、本取扱説明書をご参照ください。

ヤマハ株式会社

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10-1

ヤマハ プロオーディオ ウェブサイト
<https://www.yamahaproaudio.com/>
ヤマハダウンロード
<https://download.yamaha.com/>

© 2023 Yamaha Corporation
2023年3月 発行
IPEM-A0



VFJ1500